ろく、な条件がいる、このむつか

いずれも県が指定するには、い

しては県下第一のものである。

しい条件を満たしているのだから|

か

これら、文化財めぐりを通じて

調査研究がおこなわれた。

の技ともいうべきで、

「一筆観音経書写」はじつに神

民主々義とは、支配すなわち

わ

橋」「しらがしの木」現在のもの

としては「鎮縄神楽」

一筆観音

ら二五三年前より舞い続けて今

鎮繩神楽」は享保以前、今か

を物語るか、それは河辺村にすぐ 指定の文化財が四つもあるのは何

こたえられるようになっている。

れたそのものがあるからである。

過去の ものとしては 「御幸の

かる。

ふるさとの再発見

発 行

公民館

館報編集委員会 電話(河辺)5番

印刷所 尾上印刷所

河辺村 集 編

郷土教室をこころみる

との郷土教室は青少年教育の一

ど念のいった彫刻がしてある。 らかけられていて、一九七年前の たひさしがあり、年号寄附者名な 屋根つき太鼓橋で、ぎぼしやけ 「御幸の橋」は、 安永二年頃か | 極限に達している。後世の人々の 訓 このような神技に達するという教 ためにも若い時から目標をさだめ ねばりづよく頑張りとおすと

知らないではいけない……。

山村で僻地であるこの村に、県

郷土に住んでいて郷土の良さを

環として、中学生や高校生約五十

これも生活の智恵がうんだもので しかも屋根があり永く橋がもち |は、現在に数多くの教えをたれて むきな真心が生みなした御幸の橋 そして二〇〇年前に神へのひた

か御幸の橋のような創造はむつか 口に創造をと言っても、なかな

年と推定され、これ又県下第一の 伝わっている。歴史の古い神楽と しらがしの木」は樹令七〇〇 将来の参考にしてもらい、ふるさ とのすぐれたものに思いをとどめ 郷土すなわち河辺の良さを知って て、郷土を愛する心をつちかうと 今回の郷土教室のこころみは、

能性は十分にある。

の町村にあるだけである。 主軸である壮年男子の会がないの どうして世の中の中堅であり、 不思議というほかはない。

ついて思う 民主主義に 可能性がある。この可能性を利 用せんとする野心家は少なくと る野心を政治に反映せんとする

え方に対する民衆の主義、主張 権力が支配者にあった時代の考 大衆にあるという 考 え 方であ 能力を持つことである。 であって、主権すなわち権力が 会構造下における民主々義者の 資格条件は、自己を規制し得る 自由経済思想を基盤とする社 自己規制とは、かんたんに言 えば生存競争の技

く「母と子の文庫」という移動文

公民館では読書の秋にふさわし

(おねがい)

この目的は、幼児期の読書づく

親と子の心のふれ合いを深め

践をしていただきたいと思いま

衆の権限を委任されたものであ 英知と体力とによって自己を経 ないことである。 術に邪智を活用し 母親が読んで聞かせることによっ りがもっとも大切で、この機会 庫をはじめました。

者はともに、大

議権者、執行権

したがって決

衆の心に反する考え方は許され 物がすべてを支配するという考 由経済体制の社会においては、 るから決議権者も執行権者も大 しかし唯物主義にもとづく自 為ではあろうけれども民主々義 展を期待することは、英雄的行 会全体を発展 させることであ 済的に発展させると同次元で社 自己の犠牲において社会の発 が、この運動がじょくに広がっ う幼児を対象に行なわれています 読書力の基礎をやしなおうという ると共に、子供の一生を左右する

第一段階としては、保育所へ通

え方であるから、大衆から委任 された権限を自己を含めた特定 読者諸君の御意見を承りたい。 的ではあり得ないと考えるが、

者の経済上の利益を計らんとす

いうほど、読書活動が展開され て「部落にも巡回して欲しい」と

るとは、 村にもあ はどの町 きかを考えるのが問題である。 会を作るにはどんな目的にすべ 壮年会の目的

ごく少数|で生活しているので一人が孤立し じくしてものごとを進めなかった い。数人があるいは部落が心を同 ら、それは不成功に終ったり、不 て 事 業を 進めることはむつかし 今の世の中は一連の機構の中

では壮年男子の会はあってもな!利益だったりして、行きづまるこ

それは政治ではなく、それ以前の ものである。 して、共同で真剣に解決を要する 地域住民のすべての智能を結集

(S.46. 帯 数 男 子 女 子

(S.45.10.1

帯数口 男

どこの くてもよいものだろうか。 いる人々の必要を痛感こそすれ、 もあり又、社会の盛衰を背おうて 社会の中堅であり、一家の柱で

解決すべきことも目的のなかにう

そして愛村愛郷の熱意によって

たわれるべきと思う。

こなわれると思うのである。

主独創の解決が、しかも共同でお い。そこに河辺の実態に即した自

*t*a

ていた。といって、大 話し方 もしっかりし

識、良識が必要である。それも一 激動する社会の中でものごとを正 ていけるようにお互いの教養、常 で我々はさてどうして行くべきか しく受け取り批判し、社会に即 れるが、めまぐるしく動き変る中 世の中は激動しているとい

決をはかるべきだと考える。これ も目的の一つでありたい。 農業者として河辺村の現在ま

◎赤ケ滝線

手をかそうとはしない。

きか、このことは実に重大な問題 たは将来はどうか。 農業をやめるべきか、続けるべ

世

ば、他の会と同様に結成される可 なくて良いものではない。 壮年者の会は作る意志さえあれ とが目的の第一であろう。 会を作って積極的に話しあうこ

地域共同で教養を高めて、共同解 人くの勉強によるものではなく

2,848 1,438

1,410 718 2,810 1,404

協力そして共同の必要な時代で

準備、調査研究など住民がみずか

合わせた若奥さんは、

あるバスで、隣に乗

子を連れていた。なか

か賢いお嬢ちゃんで

二歳になるという女の

らおこなう気持ちで、地域共通の

ものを生み出さなければならな

女 子

(S.40.10.11 現)

1,406 756 3,599 1,775 まって話しあい、人と人との心の ある。お互い地域社会の人々が集|ら考え、みずから計画し、みづか

結びつきを 図 ることが 大事であ ることはできない。 とが不可欠の 問 題 だと思う。 心の中のことは語らなければ知 地域住民の和合親睦というこ

よう期待しているのです。 がまとまり発揮されるならば、他 ために繁栄としあわせをもたらす なるであろう。 のいずれの団体よりも強大な力と この力によって、河辺の住民の 世の中の主軸である壮年者の力

十月の行事予定 十日一村民運動会

道

專業

お母さんは「ゆっくりやってごら ず「とめられないヨー」というと た。横のボタンがなかなかとまら ゃんは、ひとりでクツをはき始め っているという感じなのである。 子供なのだか、何か一本しんが通

バスが終点に近づくと、お嬢ち

よその子が食べているお菓子をほ

なく、アラレを袋から こぼしてしまったり、

へっぽいというのでも

しがったりという、ごく当り前の

ん。とめられるから」と、決して

着々とすすむ

十四日ー総合社会体育郡 坂本分館婦人チーム 大会 会場(内子町 会場(大伍小学校)

一十九日一河辺村PTA連 会場(大伍小学校) 合会秋の研究大会

円をかけ、延長六〇〇メートル、 七年二月の予定。 事業費:二八、〇七五、〇〇〇

※その他、事業は着々とすすんで 六年十二月の予定。 おりますが建設的な立場に立っ て御協力をお願いいたします。

(写真は農道大中山線)

母と子の読書運動

九月二十七日より

間連動が行なわれま 十月六日までの上日 運転の追放です。 人の事故防止、飲酒 重点は、子供と老

すすんで明るい家庭づくりの実 のつながりをもつよう心がけ、 が、ほんの十分か十五分子供と 緒に本に接して、親と子の心 仕事でつかれて大変でしょう 秋の交通安全運動

談に来て下さい。簡単ですが着任 のあいさつといたします。 在 ければならない。

読書の秋です

公民館図書室へ

どうぞ!!

幼児を対象に展開

お願い致します。何でも気軽に相 します。村民の皆さん、御協力を 駐在所に参りました新納伸夫巡査 な明かるい村にするために努力致 です。事件、事故をなくして平和 私は、今回の異動で河辺警察官

警察官着任のあいさつ 力をして下さい。 交通事故防止に協

円をかけ、延長一、三九五メート 幅員三 • 六メートルで完成は四十 ル、幅員四メートルで完成は四十 事業費に一三、七〇〇、〇〇〇 だった。(或る主婦の手記より) るまに育ててしまったようである。 おえらいですね」と、つい口を 短い夫が「やってやれ」という ぼうができかねて、子供をわがま もあると思う。わが家でも、気の た。こんなとき、もどかしく、し けんそんなさった言葉がさわやか いだけですよ」と、さりげなく、 んぼうできずに、親がつい手を出 出した私に「いいえ私が楽をした 〃命令 〃を出すほどで、 そのしん してしまうという経験が、だれに 「ああ、これだな」と私は感じ 「よくしんぼうなさいますこと

私に反省を与えてくれた。 題が大きな課題として、とりあげ られている今日、このささやかな 一母親の手記はいろいろな意味で 「家庭教育」「幼児教育」の問

依存する教育では駄目である。あ やさしい愛情と、きびしい愛のむ 認識して伸ぶゆく子供の将来に、 学習や 勉強 がいかに大切である ちが必要ではあるまいか。他人に くいのない教育、しつけ、そして くまでも母親の肌と心の接触がな か。ということをあらためて、再 若い母親の教養を高めるための

分かれて行なわれて

の魅力も感じなくなるのではない ふるさとの味がない郷土には何ん

Section 1 16

大会

がなくなりつゝあり、このように

だろうか……。

今までは二日間に

れ「他の分館との交 各分館一斉に行なわ

は、昔からこの地に残っている

|いる社会体育の一つとして、河辺

去る九月十一日、県の推進して|

そこで青年団や婦人会のなかで

うとしているので、これを絶やさ

|校グランドで行なわれた。

らも、楽しく、朗らかに、相手チ

ムを讃える等、よい試合ぶりで

短

予想をはるかに越えての熱災 が、はげまし合いのかけ声の 共ユニホーム姿の健康そう

製 0 の中、

試合中は一しょうけんめ

になが た。

合が、優勝杯をかけて、河辺中学 村婦人分会対抗バレーボールの試

「扇子おどり」が今、忘れられよ

こうという気運が高まってきてい ないよう自分たちで受け継いでい

ます。これも「ふるさとの味」を

れていた天候も試合前になると薄|あった。

何事もこの意気とこの気持ちで

朝から雨雲がたれてめ、案じら

稲の管理

上げの月です。丹精とめて栽培し 一十月は、稲の稔実をよくする仕 た稲は、最後の仕上げが悪いと、

米が多くなり、减収するので、出 落水が早いと、枝梗イモチ病や屑 揃後25日間は、灌水が必要です。 す。出穂後の水分は、穂水として 槵開花後も土壤水分は、湛水状態 大切で、茎中の養分は、ほとんど

分にしておくのがよい

一口にボヤ突きというけれど

るときでありますが、稲の刈取り一るよう間伐をしましょう。 米の品質食味が問題になってい

それで突くのである。ボヤがあ るく、とはいらない。きしむの ると、普通の土壤のように、 の棒の一方の先をとがらせて、 る。八十センチメートル位の鉄

ば出てくる。ボ 十センチも掘れ めたもの、約三

るから腰が痛い。両部落の人々 ク玉のような恰好である。 これをつくのだが、中腰でや

をのけぞらせては腰の辺を叩い

たりしては、突いて錯覚できし

か竹之瀬の方の山がよいのじゃ

満身の力を入れて突きこんだ。

つき、二つき、トタンに彼の

(次号は西明寺物語です)

丁歳未満の男子で、学歴は問いま!せください。

大阪方面のかたは三

いことは河辺郵便局へお問い

親子読書をしましょう

うわがある、ちょうどコンニャ のこである。表 ヤは切った古松 の根にできるき 面は黒くそして

上って叫んだ。

かくれようとする頃であった。 さぞ落胆したことであろう。 赤い夕陽がやがて横通り山へ 13

ないか」「もう少し下のナバレ 話しかけるのであった。 打ち鍬を前において休みながら 「ボヤはこの辺にないのじゃ

時期は、品質に影響を与えるので一

第4枝梗の第1小枝梗が3分の2 が2%以下、活青米率15%のころ 適期刈取りに努めましょう。 黄変したときを 適 期 としていま くわかり、そのうえ残した枝の充 となっていますが、普通は、穂の 刈取適期は、立毛中の胴割米率 よくわかる葉のある時期、すなわ う。

時期は次の通りです。 なお、早中晩による刈取適期の 晚生 45日~50日目 35日~40日目 40日~45日目

元から伐採し、伐採できない場合

ってきました。

めながら、よりよい地域社会づく

演技とファイト、そしてチームワ が、どのチームも甲乙つけがたい

初めての試みであるのに各分会

る愛着を深めお互いの連帯感を高

落水は、稲揃後30日~35日目で

一、くりの間伐

では、枝全体に日あたりをよくす 樹の外側だけになるため収量もあ がらなくなります。そこで密植園 のため枝枯れが多くなり、果実は くりは、密植になると日照不足 定のときに 実施 するだけでもよ 作業の都合によっては、冬期せん いから太枝の追入み程度でよく、

二、落葉果樹の植付

らを見て、よい知らせもなく、 見える。家の人々は力のない彼 た。ここらは両部落の家からも 降りて来ていた、二つの部落の だまされたことである。 むように覚えては幾度か掘って 中間にあるボヤ森山を探し始め く山を小峰づたいに次第く~に 両部落の人々は、誰いうとな かきさく思いがしたのである。 をこさにゃ死ぬほかないじゃな もなんちゃ食わん、ゴク粒のど ないか」 「もうボヤは 駄目じ わされるのを組頭は聞くと胸を いか」などと悲痛な話がとり交 だが二人の組頭がひそく話 「内のおふくろは、早四日

をしているけれども適確なボヤ

ある。さあやろう」と鉄の棒に 思案にくれていたのである。こ !!陽が暮れるまでまだ半ときは 掘り当てのきめ手はなかった。 の時、若くて元気な一人が立ち 「まだやれる、最後だ頑張れ ちなみにこのボヤによって両部 ろうか、丁度ボヤの出たところ は疫病の神として祭りきたった 叫んだ。「ボヤだ」と、まわり る奇しきえにしというべきであ からも沢山のボヤが出たのであ ものである。 そこからも、 ここ た。ボヤはある所には沢山ある あげた。「出たぞ、出たぞ」皆 ボヤが正しく出た。皆は喚声を た。果せるかな黒くしわくれた の者らが山打ち鍬でほってやっ にしたりしていた。彼は大声で 込むようにしたり少し抜くよう 柿本人麻呂の墓の附近である。 な活力を 取 戾して 集まって来 ン」とうなった。みると彼は突

ち収穫後の10月に行ないましょ なっていたが、それよりも密植の この時期はまだ密植の状態がよ 間伐は、冬期せん定のころに行 間伐と縮伐の要領は、若木の場

合にはできるだけ間伐予定樹を根 ものさびしいものにな りに努力してほしいものです。 流がなかったせいか としては、だんく る人達を迎える郷土 なかったように思わ あまり盛り上がりが れた」という声もあ ふるさとへ帰ってく

しかし、この頃に

る郷士意識のあらわれであろう。

とのことによって、 郷土に対す

優勝杯は第二分会の手に渡された

試合は、リーグ戦で行なわれ、

|残したいという、お互いに共通す | 日が射し、絶好の運動日和。

入る前の11月~12月ころまでがよ 落葉果樹の植付けは、厳寒期に

真夏の

河川清掃

約二〇〇人が奉仕

樹の充実を計ることができる。

成木はあまり樹が大きくならな

行なうと収量を落さないで残した でも芯の部分の枝のみ残す縮伐を

付けた苗が完全に活着して翌春の 芽立ちが春植えよりもよくなるの| が少しつつ活動しているため、 で、できるでけ秋植えを行なうと この時期は、落葉していても根

目が異様に輝いた。彼は「ウウ 掃奉仕が行なわれました。 達が〃川をきれいにしよう〃と、 を見かねた、婦人会、青年団の ミの捨て場のようになっているの これは、美しい河辺の河川がゴ 去る七月の炎天下、とうとい清

上でもその成果は大きいと思われ りは、お互いの連帯意識を高める 行動を通じてのこの地域社会づく の間から盛り上った問題だけに、 の休日を奉仕活動で過ごされたと いうもの。 そして、お互い地域に住む人々 川近くの住民にも呼びかけて夏

待たれる焼却場の増設

ぞれの家庭で処理して、他人に迷 う反省も出ていたが。 惑をかけないようにしょう」とい なお、村内の何ケ所 今後は「焼却できるゴミはそれ

松山郵政局では、

能なもの)を設置して かに近代的な 焼 却 炉 (大量のゴミが焼却可

を募集しておりま日)に松山市、宇和島市、 は二十五歳未満の男 務する郵政外務職員 阪方面の郵便局に勤 四国および東京、大 受験資格は、勤務 にあります。 市、髙松市、徳島市、 人事部人事課で行なっています。 受験案内、申込書は河辺郵 第一次試験は十月十七日 なお、受験方法、 受付は十月五日まで松山郵

高知市 新居浜

日曜

夕立ちて涼しきおほゆる参道の

水のたまりに秋陽かがよう

ぎっしりと桑つめしかご負い帰る

ヨシ子

末

光

重

ま昼の残暑の日射しつよしも

名

本

勅

滋

便局

近所の老人家庭へも愛の手をさしのべま 家族そろって楽しい夕食をしましょう

毎月五日は「家庭の日」

っている。郡での河辺村婦 ではなかろうか?。 やれば立派な地域作りも出来 -選手の活躍を祈りたい。 優勝チームは郡大会へ出場 人バレ 場とな 米るの 夕立に残暑峠を越しにけり 国木の森残暑を惜しむ蟬しぐれ 夜行車の人さまざまにいねむりて 年毎にあせもふき出す残暑に 残暑去り初秋の訪れを知る朝 残暑なおきびしき午後の山かげに 就職と希望にもえて行きし子も 残る暑さきびしき中を刈りすすむ 土用らしき日もなきまゝ秋立ちて とうろう送りの寺に詣でん 体臭こもる夏の旅ゆく 夫と二人で山の下刈り しきりになきて秋風立つ 船 船 Ш 谷 田 井

囲碁の名人戦?

は会員|た。 この日の同好者十一人はいづ ちで、お互いに腕を競いあいまし れも「メイジン級」ぞろいの人た いて囲碁 大会 がおこなわれまし 去る七月二十四日、公民館にお| 成績は次のとおり。 優勝 三位 準優勝

角藤政干代氏 富夫氏

残 野に秋草の花咲きそめて 曇りの日多き八月もゆく 暑 歌 田 本 春 喜 久 雄 子

頑張りおると残暑の便り ミツマ

つくくほうしの声しきりなり モズ高らかにさえずり渡る 信 ユキエ Œ 義 路